

少子高齢化と外国人労働者問題

経済学的アプローチ

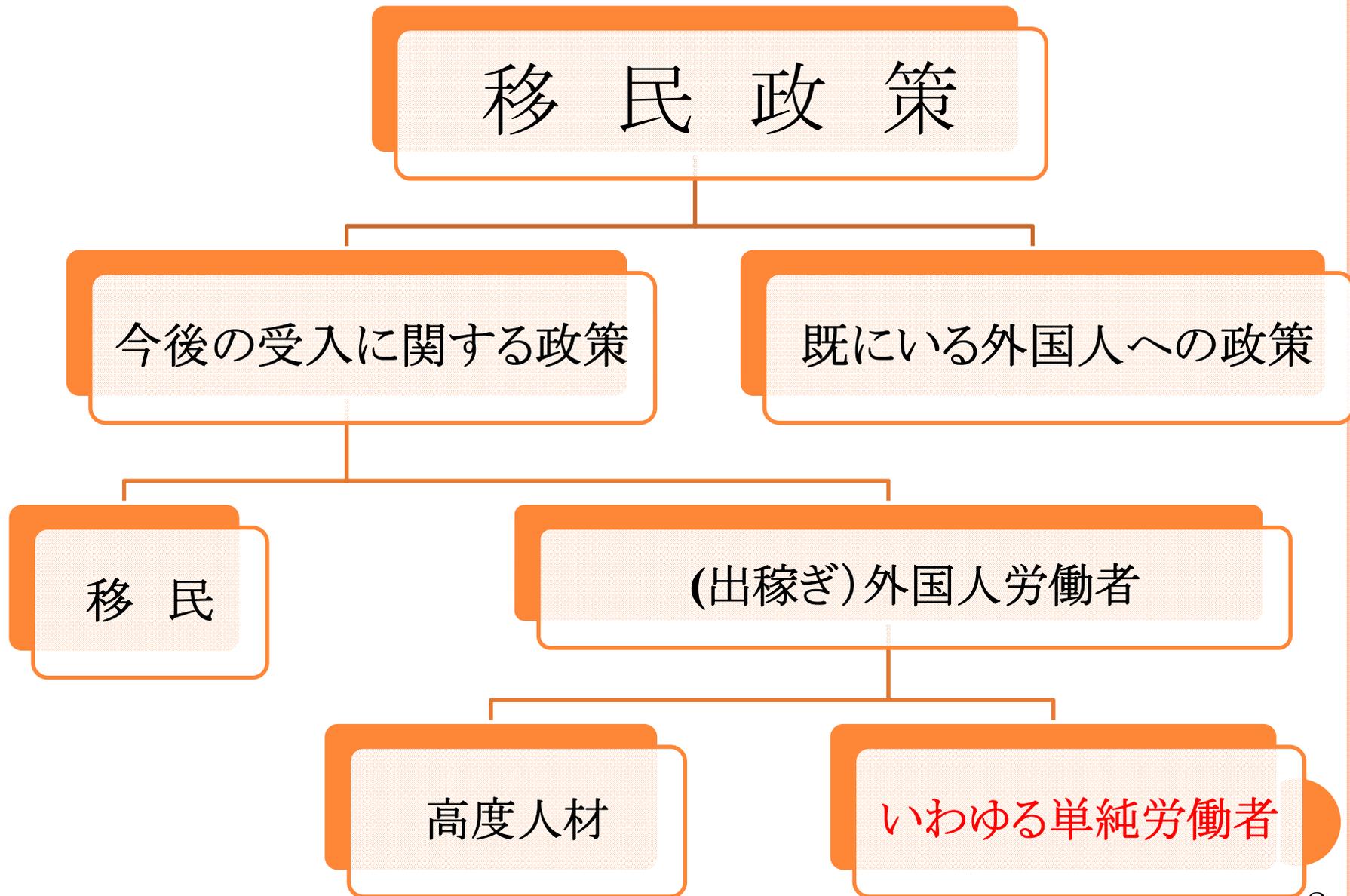
2012年7月3日

慶應義塾大学
後藤純一

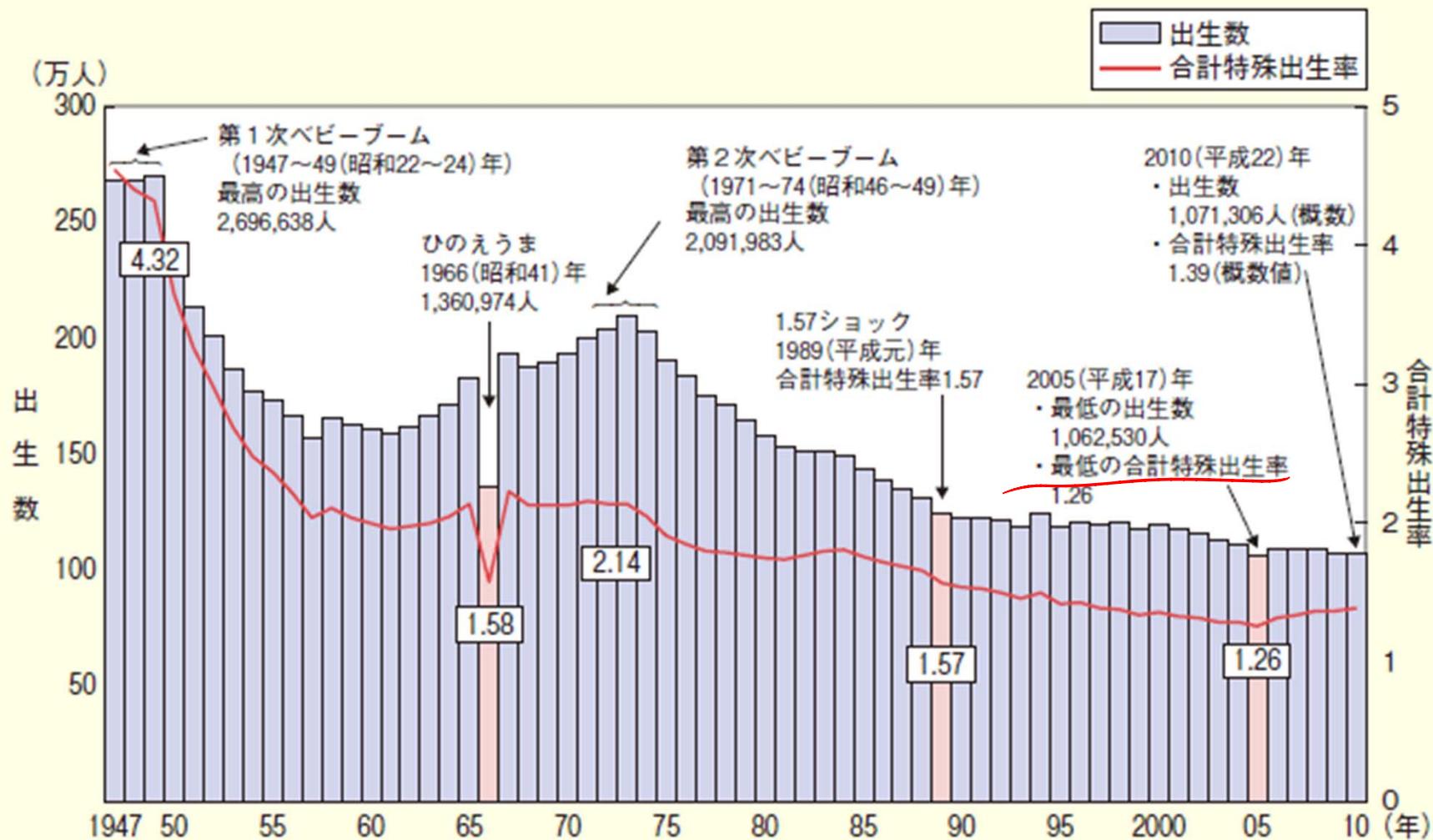
外国人労働者受入れ論の3つの流れ

- バブル時代の人手不足に対処
 - 建設業、中小企業、3K職種における人手不足
 - 平成不況によりやや下火
- 少子高齢化に伴う中長期的な人手不足に対処
 - 生産年齢人口が1700万人減少(今後25年間)
 - 日本人が足りなければ外国人
- アジア諸国とのEPA推進に必要
 - 途上国とEPAを結ぶためにはヒトの自由化が避けられない
 - インドネシア・フィリピン・(ベトナム)の看護師・介護士候補者

議論の土俵を明確にすることが重要



出生数及び合計特殊出生率の年次推移

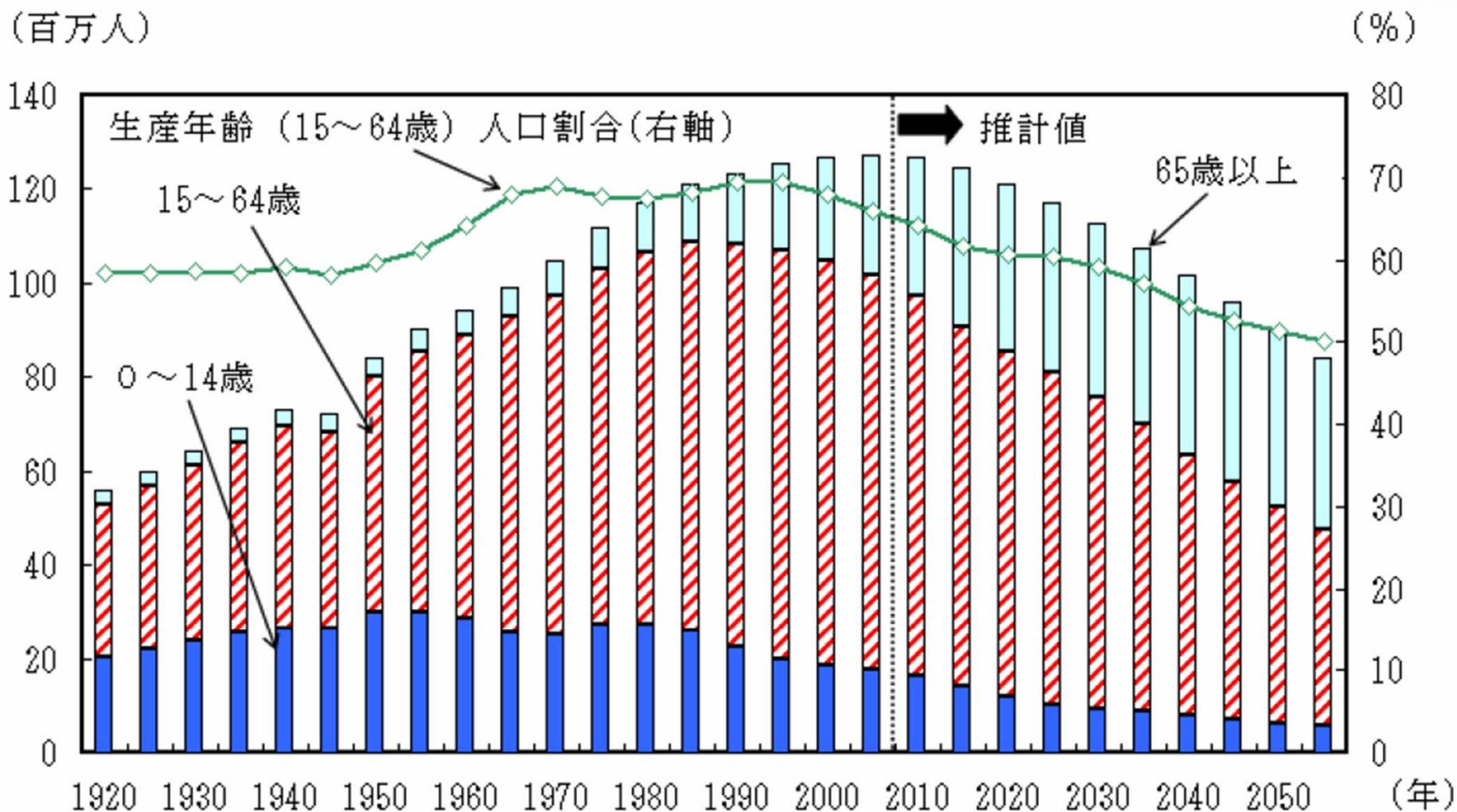


資料：厚生労働省「人口動態統計」

注：1947～1972年は沖縄県を含まない。

2010年の出生数及び合計特殊出生率は概数である。

日本の人口推移と将来推計人口



(備考) 2005年までは総務省統計局「国勢調査」、2010年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口 (平成18年12月推計)」により作成。

(出所) 内閣府「<http://www5.cao.go.jp/j-j/wp/wp-je07/07f21010.html>」

少子化と労働力需給

- 少子化により、わが国の労働力は減少・高齢化していく
- 生産年齢人口は今後25年間に1700万人減少
- 深刻な人手不足の到来を防ぐには？
 - 外国人労働者(日本人が足りないのなら)??
 - 焼け石に水では??
 - いろいろな代替策
 - 労働生産性
 - 国際的代替策(ヒトの移動 vs. モノ・カネの移動)
 - 国内的代替策(女性・高齢者・若年者)

外国人労働者受け入れ

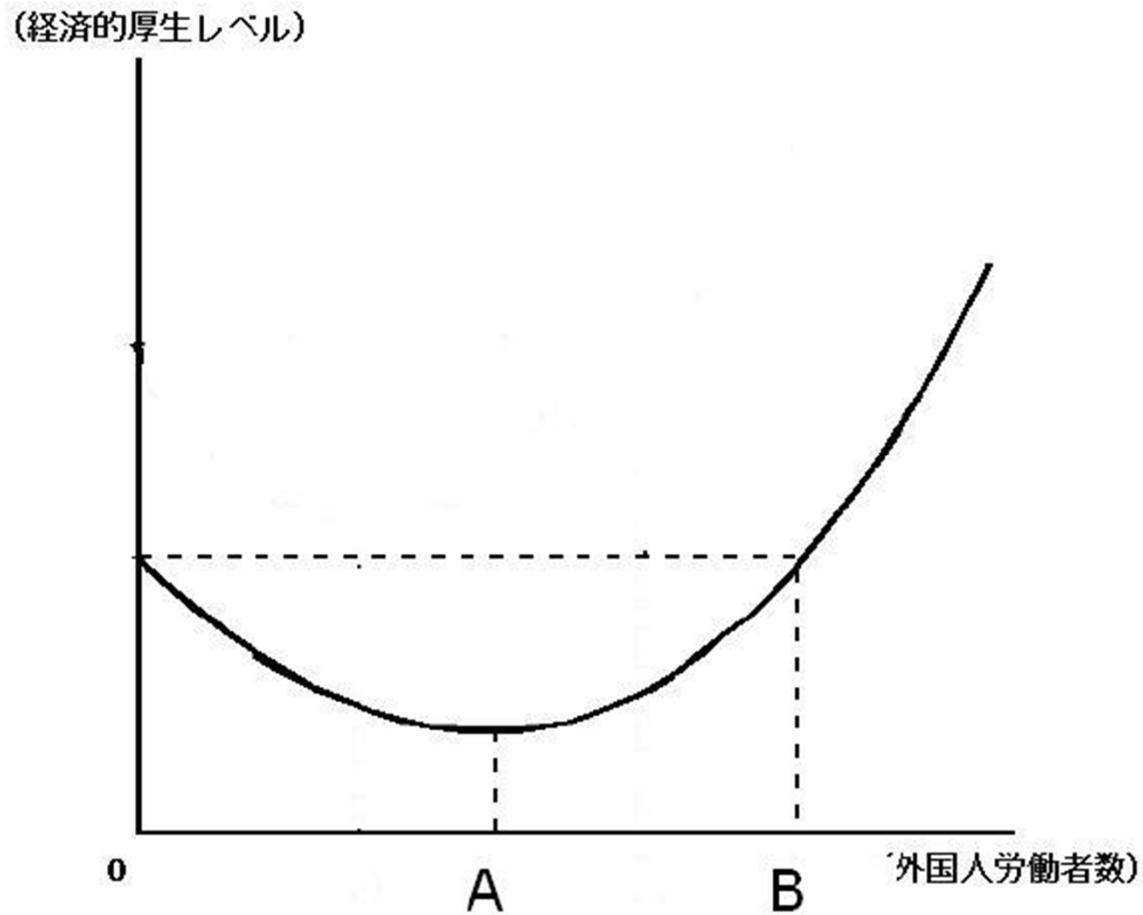
- 受け入れ推進論
 - 労働力豊富な国から労働力希少な国への労働移動であるから受入国・送出国双方にとって利益
 - 日本人が足りないのだから仕方がない(数合わせ)
- 受け入れ慎重論
 - さまざまな社会的コスト(犯罪、地方自治体の財政圧迫)
 - 国内的代替策(女性・高齢者等の活用)
 - 国際的代替策(労働の輸入vs.労働集約財の輸入)

1、受入れとわが国の経済的厚生 (受入れは経済的にプラスなのか?)

- 従来理論
 - 労働力があまっている国から足りない国への労働移動であるから、受入国、送出国双方にとってプラス
 - 国内労働者の賃金抑制
 - 国内労働者の雇用抑制
- 新しい理論
 - Brecher and D-A (1977)
 - 関税と資本受入れ
 - Schiff (1999):
 - 社会資本の存在をモデル化
 - Goto (1998, 2007):
 - 貿易制限・非貿易財の存在をモデル化

こうした、現実的フレームワークのもとでは、従来理論のバラ色シナリオは必ずしも成り立たない。

外国人労働者受け入れ規模と厚生
すきま風 vs. ハリケーン
(プラスかマイナスかは受入れ規模に依存)



2、本当に労働力は不足するのか？

- 労働生産性引き上げ
 - 単位生産性
 - 配分生産性
- 国際的代替策
 - ヒトの移動とモノ・カネの移動(国際的代替策)
 - 移民 vs 貿易自由化
 - 労働輸入 vs. 労働集約財輸入
- 国内的代替策
 - 女性
 - 若年者、高齢者

(1) 労働生産性の引き上げ

- 急速な生産年齢人口の減少だが年率0.9パーセント程度:そんなに困難ではないかも
- **Unit efficiency (単位生産性)**
 - 投資・高付加価値化・創意工夫などを通じて各部門における生産性を引き上げる
 - 「官から民へ」、「市場化テスト」等による効率化も必要か
- **Allocation efficiency (配分生産性)**
 - 低生産性部門から高生産性部門へのシフトにより経済全体での生産性を引き上げる

(2) 国際的代替策

- 労働集約財・農業などを中心にさまざまな輸入制限が行われているのが現状
- 自由化の推進
- 労働者の輸入ではなく労働集約財の輸入を
- 外国人労働力の間接的活用

(3) 国内労働力(特に女性)への期待

女性の職場進出をはばむもの

- 結婚・育児で退職を「余儀なくされる」環境
- 男女間格差(賃金・昇進)
- メインストリームへの再参入の困難性
 - 再チャレンジの容易な社会へ
- 古い役割分担意識

まとめ

- 議論の土俵を明確に
 - 将来の受け入れ vs. 今いる人々への対策
 - 移民 vs. 出稼ぎ労働者
 - 高度人材 vs. いわゆる単純労働者
- 少子高齢化時代における外国人労働者問題
 - 受入れの経済的ベネフィット
 - すきま風 vs. ハリケーン
 - 重要な代替策
 - 国内的代替策(女性・高齢者・若年者、生産性引き上げ)
 - 国際的代替策(貿易自由化、外国人労働力の間接的活用)